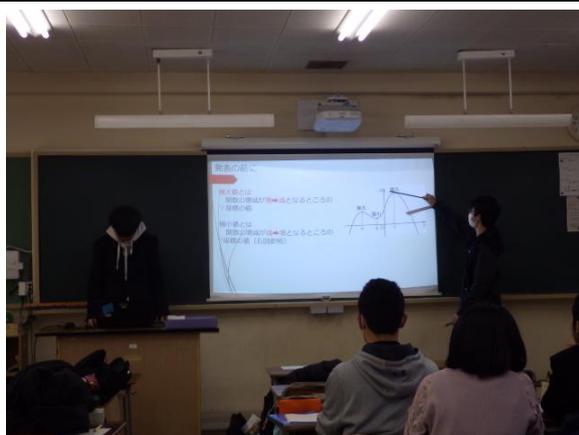


平成29年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSI・SSA「課題研究基礎」発表会
期 日	平成30年3月1日(木) 4限~6限
会 場	本校1年生各教室・多目的室
対 象	1年生全員(普通科・理数科)
目 的	<ul style="list-style-type: none"> “仮説を立てて、実験を行い、レポートにまとめ、発表する“という科学研究のプロセスを体験する。 理数科では、2年生からの課題研究へとつなげる研究の始めとなるよう心掛ける。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 9月から物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれ行ってきた課題研究の成果をまとめ、各班による発表を行う。 9月からの授業回数は、オリエンテーション1時間、2時間続きの授業を4回実施。今回はその内容をまとめ、各クラス10班ずつ発表していき、相互評価を行った。 理数科は教室と多目的教室の3つに分かれ、4・5限は各班の調べた内容とこれからの研究方針を発表する。その後、6限はポスターセッションを行った。



数学班の発表の様子



理数科のポスターセッションの様子

<各科目の課題研究の例>

- ・ 図形の内分点に関する研究 ・ On some triangle statements of a crime
- ・ 液体と摩擦の関係 ・ 信濃川の水力
- ・ いやなにおいを消そう ・ 同素体とその元素の化合物の特性に関する研究
- ・ 聴覚がもたらす集中力の変化 ・ ねぎと光の関係
- ・ 地球温暖化のしくみとその影響 ・ 長高の雪庇の謎に迫る

アンケート 評価	<p>発表会の後、17の項目について自己評価を行った。その中で自分に最もよくあてはまると答えたのは、</p> <ol style="list-style-type: none">①「他のメンバーと協力できた」②「教科書にはない実験・研究ができてよかった」③「自主的・意欲的に取り組んだ」 <p>の順だった。</p> <p>また、自分にどのような力がついたと思うか、の問いには上から、</p> <ol style="list-style-type: none">①「物事に対する好奇心を持つ力」②「チームワークを活用する力」③「プレゼンテーション能力・表現力」 <p>となった。</p> <p>科学に対する興味・関心はこの授業の前と比べてどう変わりましたか？の問いには、84%の生徒が「上がった」と答えた。</p>
-------------	--